

北タイ散策

洗って使える! 環境にやさしい蜜蝋ラップ

文・写真 岡本麻里



様々な柄がある。

らめなかつた。失敗を恐れていけない。間違いや失敗をたくさんしてこそ成功する、そんな強い信念があった。

試行錯誤で作ったものをクリスマスマーケットで並べてみたところ、大好評。2年前にチェンマイのサムーンに会社を立ち上げ、「Super Bee Wax Wraps」(スーパー・ビー・ワックス・ラップ)という、洗って使えるラップを商品化し、販売し始めた。今では国内だけでなく、オーストラリアやイギリス、アメリカなどに市場を広げるま

で成長し、2017年には「チェンマイデザイン賞」も受賞した。

やさしく手で温かく包み込む

このラップは、コットンの生地にOTOPの蜜蝋、オーガニックのココナッツオイル、樹脂を塗っている。触ると少し硬く、それを容器にかぶせたり、チーズや玉ねぎなどの食材を包んだりしてラップ代わりに使う。ラップは触っているうちに手の温度で柔らかくなり、ぴったり包めるのが特徴だ。抗菌で、食品が新鮮なまま長持ちするという。タイ人スタッフの中には、ドリアンを包



大きめのラップを使い、ラップ同士を引っ付けるように包む。
*手入れや使い方によるが、6-8か月は使用可。

んで冷蔵庫に入れているが、不思議と匂いがうつらないそうだ。また、いろいろな柄があるので、そのまま容器をカバーし、持ち寄りパーティーなどに持っていくても素敵だ教えてくれた。

スタッフとアントワネットさんが仲良く話しているのを見ると、アントワネットさんがスタッフのことを大事にしているのがよくわかる。スタッフも表情がいきいきしている。みんなが気持ちよく働けるよう、縁多いサムーン郡の一軒家を借りて作業場にしている。現在は地元のスタッフをパートを含め10人以上雇い、タイ人の最低保証賃金よりずっと多い給料を出している。スタッフの意見を積極的に聞いたり、家事や仕事などで

忙しい母親スタッフを支援したりと、みんなが心地よい職場環境づくりに努めている。

アントワネットさんは日本に交換留学・仕事したり、ドイツなどに住んだりしたことがあり、その時はいつも現地の生活にどっぷりつかっていたという。ただ、チェンマイでは外国人とのつきあいが多く、あまりタイ人や文化に触れあうことがなかった。それが今ではこうした形で北タイの人と触れ合えること、支援できることが嬉しいと笑顔で話してくれた。

ラップの使い方

コツは、包むものより大きめのラップを用意すること。「容器」ではなく、「ラップ」自身に引っ付くので、なるべくラップが重なる面積を多くすること。冷蔵庫に



アントワネットさん

入れてもいいが、60度以上だと溶けてしまうので、電子レンジは使えず、洗う時も水かぬるま湯でやさしく洗うのが基本。気になる場合は液体せっけんを少しつけて洗うといい。スタッフの1人、ラケルさんは、玉ねぎ用、パルメザンチーズ用などと専用のラップをつくり、洗わずに使っているそうだ。彼女によると、大事なのは生活習慣を変えることだという。使い捨てのラップではなく、再利用するクセをつてしまえば、自分にどういう使い方が合うか見つける楽しみが出てくると。

様々なサイズがあるが、初めての人は「ザ・ビギナー・セット」がおすすめだ。大小3サイズ(33、26、20cm)入っているので、それで自分がどのサイズをよく使うか試してみるのがいい。そして自分に合ったサイズのものを少しずつ揃え、エコに生活を変えていくってはいかがだろうか。



現在、委託販売しているのは「ザ・ビギナー・セット」のみ。

www.superbee.me

【購入できる店】

Good Health (地図E-5)、Aden (JJ内: 地図H-2)、
パンパン (地図A-5、C-3)、Blue Diamond,
Greenheart, The Hideaway, Hug Wiang Organic, Aunchan,
Food 4 Thought, Urban Green Organic Health Store, Free
Bird Cafe, My Secret Cafe, Healthy B Cafe